

一般社団法人日本釣用品工業会 実施
つり環境ビジョンコンセプトに基づく LOVE BLUE 事業
第 5 回「内水面 釣り場拡大事業 ワカサギ」申請書
(下伊那漁業協同組合 一部抜粋)

1. 背景

- ・下伊那漁協管内の冬の釣りとしては、天竜川本流での鯉釣りとウグイの引き虫釣り等があったが、食文化の変化や、釣り人の高齢化などの要因で、冬季の釣り人が減少している
- ・35 年ほど前、国交省管理の小渋ダム湖に地元釣具店等がワカサギの発眼卵を放流し、定着しているが、釣り場のダム湖が急峻な渓谷にあり、年配者や子ども連れなどには危険であるため、地元及び遊漁者等から冬の遊漁ができる漁場を要望する声が多かった（小渋ダムは国の管理下であるため、漁協に漁業権はない）
- ・組合として安全な場所でのワカサギ釣り場を開拓したいと考え、平成 21 年から管内の様々な箇所でもワカサギの放流及び定着させることを試みたが、土石流流入や遊漁者の事故等により適地が見つからない状態であった
- ・令和 4 年、新たなワカサギ漁場の候補として下伊那漁協管内で最南部に位置する売木村岩倉にある中部電力管理の岩倉ダム貯水池が挙げられた
- ・岩倉ダムは傾斜が緩く子ども連れでも容易に釣りが楽しめ、村営の岩倉キャンプ場が隣接しており、駐車場や女性の釣り人には必須のトイレなども確保が可能である
- ・例年、売木村には当組合の事業に積極的な協力を頂いており、今回のワカサギ事業においても孵化用の電源確保、監視業務等、今後のこの事業に関し、村を挙げての協力を快諾しており、組合としては釣り人に冬の釣り場を提供することで、観光客等誘致を含む村おこしにも協力したいと考えている
- ・ダム事業者である中部電力とも協議を行い、事業の実施及びダム湖内のボート使用の同意も得ている

2. 試験放流及び採捕

当組合では岩倉ダム貯水池でのワカサギ釣り場創出が可能か検討するため、今年度 4 月に県内諏訪湖の発眼卵を発注し、希望量を下回ったが、100 万粒の試験放流を行った。

9 月の試験採捕の結果では平均全長約 7.0 cm、12 月で 11.0 cm 程まで生育しており、この漁場がワカサギの生育に適していることも確認した。魚群探知機の調査でも、岸側からのみだがワカサギらしき群れが複数確認できた。

(参考) 1 時間当たり一人が釣った尾数 (CPUE) 9 月：約 7 尾 12 月：約 20 尾

3. 孵化器の設置

本事業では 2019 年に長野県水産試験場が作成した「可搬型ソーラーパワーワカサギ孵化装置」をベースとし、長野県水産試験場の協力を仰ぎ、DC 電源と AC 電源双方に対応するように変更した設備 1 式を整備し、対象である岩倉ダムに設置する。設置後数日でワカサギを孵化させ岩倉ダムへの資源提供を図る。当初は現在放流の主流である発眼卵を使用するが、使用する発眼卵は、当該地域の環境に類似した県内諏訪湖産を使用する。しかし、近年諏訪湖のワカサギ卵の供給が不安定になっていることから、岩倉ダム湖への確実な増殖が確認された後、より環境に合う受精卵の確保を考え、自ダム湖産ワカサギの増殖に取り組む必要があるため、現在諏訪湖のワカサギ採卵孵化を実施している長野県水産試験場諏訪支場の指導のもと、親魚を捕獲する定置網ならびに、「水槽内自然採卵法」に係る設備を設置する。

① 孵化装置設備一式の制作、整備

実施期間 ～令和 5 年 3 月

② 設備制作後孵化作業の実施

実施期間 令和 5 年 3 月～令和 5 年 5 月（10 年以上継続予定）

実施場所 長野県下伊那郡売木村岩倉 45-44 岩倉ダム貯水池

4. 釣り場拡大事業として期待される効果および目標

「ワカサギ孵化装置」を活用し、岩倉ダムをワカサギ漁場として開拓することで、冬季釣り人が安心して楽しめる釣り場の創出を行う。売木村との協働により、キャンプ客など初めて釣りを楽しむ人も取り込む。

〈増殖計画〉

	R4年	R5年	R6年	R7年	R8年	R9年
卵発注数	400万粒	400万粒	400万粒	400万粒	400万粒	400万粒
卵購入数	100万粒	200万粒	200万粒	200万粒	200万粒	200万粒
放流数	100万粒	200万粒	200万粒	200万粒	300万粒	400万粒
自ダム湖産	0粒	0粒	0粒	0粒	100万粒	200万粒

今年度は諏訪湖のワカサギ不漁が原因で、400万粒購入予定が100万粒しか確保ができなかったが、引き続き諏訪湖産を放流することで個体数増加を図り、令和8年からは自ダム湖産で増量を図ることを目標とする。

〈遊漁証販売及び遊漁者数見込〉

	R4年	R5年	R6年	R7年	R8年	R9年
日釣り券	0枚	0枚	50枚	100枚	150枚	200枚
年券	0枚	0枚	5枚	10枚	15枚	20枚
釣り人 (延べ)	0人	30人	150人	300人	450人	600人
CP場利用者	2,400人	2,500人	2,700人	2,900人	3,000人	3,100人

現在は試験放流の段階であり、ワカサギが漁業権対象魚種に入っていないため、令和4年令和5年度の遊漁証販売は見込めないものの、当組合HPや売木村HPなどのほかSNSの活用やマスコミへのプレスリリースなどを通じ、岩倉ダム湖へのワカサギ放流をしっかりと周知し、令和6年の漁業権の切替えて、長野県での認可を得られるまでは増殖に努め、漁業権魚種への認可以降、遊漁者の増加を図れるものと考えている。また村営岩倉キャンプ場の利用者数は令和3年度2,315名であり、キャンプ利用者からの口コミもかなり期待できるため、上記目標は達成可能と考えている。